

## 【ふくしま復興再生道路】 国道114号山木屋工区でトンネル工に着手！

国道114号は県北地域と相双地域を東西に連結し、交流や物流、医療、福祉等を支える重要な幹線道路です。福島県は、国道114号を「ふくしま復興再生道路」として位置付け、避難解除等区域の復興を周辺地域から強力に支援するため、整備を進めています。

特に川俣町小綱木地内から山木屋地内の約14kmの区間については、幅が狭く、急カーブや急勾配の区間が連続しており、安全で円滑な交通に支障をきたしています。これらを解消するため、県北建設事務所では集中的に整備を進めているところです。

このたび、山木屋1工区の（仮称）小綱木2号トンネルの掘削開始に合わせ、平成30年6月28日（木）に安全祈願祭が行われました。地域住民代表の皆様、川俣町役場、施工者（寿建設(株)及び協力会社）をはじめ、約30人が出席し今後の工事の安全を祈願しました。

平成30年代前半の供用開始を目指し整備を進めてまいりますので、ご理解とご協力をよろしくお願い申し上げます。



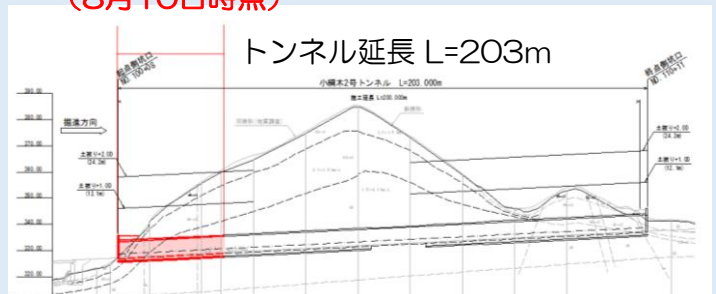
安全祈願祭のようす

### 【トンネル工事の状況について（8月時点）】



現場施工状況

L=41m掘削完了  
(8月10日時点)



掘削状況について

### 【事業区間と各工区の事業進捗率】

H30.6月末時点



(裏面に続きます!)

## 【職員ボランティア】 国道115号の花植え活動に参加しました！

7月7日（土）に県北建設事務所、保原土木事務所の職員が、国道115号 福島西インター付近の道路美化活動ボランティアに参加しました。

これは県土木部OBによるボランティア団体の「三水会」が毎年実施している花植え活動に協力して参加したもので、併せて約25名によるボランティア活動となりました。

マリーゴールドやサルビアなど色とりどりの花の苗を国道115号沿いに植えました。あいにく雨の中での作業となりましたが、参加者は「道路を利用する皆さんが笑顔になること」に思いを馳せながら、汗を流しつつ一生懸命活動しました。



参加者一同による記念写真撮影のようす



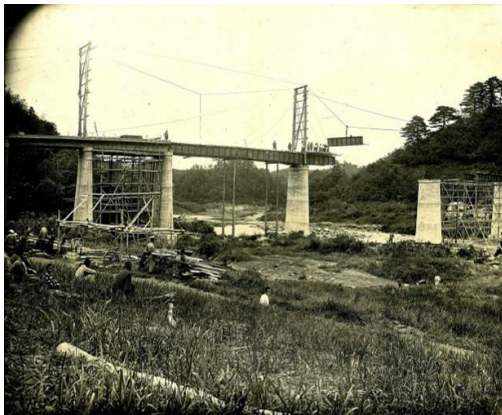
マリーゴールドやサルビアの苗植付けのようす

## 【記録写真】 「今昔フォトギャラリー」に写真を追加しました！

県北建設事務所では、6月より事務所ホームページ上に「今昔フォトギャラリー」を開設し、戦前（昭和10年頃）に撮影された県北管内の建設工事の写真を公開しております。7、8月には、新たに9枚の記録写真を追加し、計12枚の写真について説明文とともに紹介しています。

当時の街並みや建設工事の状況がわかる貴重な資料ですので、ぜひホームページよりご覧になってみてください。

県北建設 今昔フォトギャラリー 検索



新飯野橋の架設状況（福島市飯野町明治地内）



建設機械の導入状況（福島市大町地内）

ホームページでは、  
当時と現在を比較して紹介！

県北建設 今昔フォトギャラリー 記録No.4 (旧)福島紅葉山線  
～今は無き乳剤舗装工～

昭和10年頃の道（戦前）



【当時の写真の概要】

飯野通り（当時の県道福島紅葉山線）で撮影されたもので、現在の県道水原通と国道13号の交差点を徳夫山方面に撮影した写真です（福島市大町地内）。写真右側の竹藪は、路肩にアスファルト乳剤を敷布しています。当時は、乳剤と砂を交互に敷布して道路の強度を高める乳剤舗装という特異的な舗装工法がしばしば用いられていました。

平成30年頃の道



【当時の写真より気づいた点】

写真奥に写る徳夫山の経緯により撮影位置が特定できましたが、現在は平和通り（国道13号）が横断するなど、当時の状況と全く異なっている。写真左手には通行している人たちが工事の状況をのぞきそらに眺めているようすがわかる。乳剤の敷布には、ジョーロ型乳剤敷布器（先端に平板がついている）を用いることで、幅広く敷布できるよう工夫が施されていることがわかる。

福島県県北建設事務所 企画調査課

TEL 024-521-2513 FAX 024-521-2848

HP <http://www.pref.fukushima.lg.jp/sec/41310a>

